

令和 8 年度 第 1 回富里市総合教育会議議事録

日 時 令和 8 年 6 月 2 3 日（火）

午後 1 時 1 5 分～午後 1 時 3 5 分

場 所 本庁舎 3 階 第 3 会議室

■出席者

五十嵐市長、大澤教育長、田口教育長職務代理者、内田委員、小野委員

【教育委員会】

枝村教育部長、藤城教育総務課長、教育総務課関谷課長補佐

【事務局】

山崎企画財政部長、根本経営戦略課長、小澤課長補佐、黒田主査補、永作主査補

■配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料 1 「富里市の教育に関する大綱」の基本目標（案）について

■ 次第

1 開 会

2 市長あいさつ

3 協議事項

(1) 「富里市の教育に関する大綱」の基本目標（案）について

【経営戦略課長】

- ・資料を基に説明

<質疑応答>

【教育委員】

- ・教育大綱の改訂ということだが、内容はほぼ変わらないということか。

【経営戦略課長】

- ・過去5年間において、コロナ等により、ICTが著しく進展し、教育を取り巻く環境は大きく変化しているが、本市が目指す教育や学びを通じた「人づくり」の方向性に大きな変更はないものと考えているため、基本理念、基本目標は継承したいと考えている。

【教育委員】

- ・教育大綱を改訂する必要はないのではないか。

【経営戦略課長】

- ・教育大綱は、教育に関する総合的な施策についての方向性を示すものであり、改めて現状や課題を整理した上で、その方向性を確認し、社会情勢の変化を踏まえた教育における施策の展開につなげることに、意義があると考えている。

【教育委員】

- ・基本目標は引き続き継承されとのことだが、新たな目標を追加する必要はなかったのか。

【経営戦略課長】

- ・教育分野における市民意識調査の結果や市の課題から、基本目標について検討し、現行の6つの目標の中で、現在の課題にも十分対応できると判断したため、新たな目標の追加や修正は行わないものとして考えている。

【教育委員】

- ・基本目標については、この内容で良いと考えるが、大綱の基本目標ごとに具体的な事柄が示されているので、その中に外国人児童・生徒の受け入れ体制やG I G Aスクール等が入ると分かりやすいと考える。

【経営戦略課長】

- ・次回の会議では教育大綱の素案を御提示するに当たり、より具体的な文言を加えて御提示することを考えている。

【教育長】

- ・教育大綱の基本目標の中で、特に6つ目の「平和・人権意識の向上への取組」を重視している。人権教育は、人間関係の構築、いじめの抑止・防止、善悪の判断、社会生活を生きていくためのルール順守等、子どもたちが将来生きていく上で重要な基盤となる。また、子どもたち一人一人が夢や希望を持ち、自らの可能性を伸ばしながら健やかに成長できる環境づくりにも寄与するものだと考えている。

—その他質疑なし—

【市長】

- ・富里市の教育大綱に関する基本目標（案）については事務局案のとおりとする。

4 その他

【教育長】

教育大綱に関連して、教育委員会の取組について情報共有する。

- ・G I G Aスクールに関連して、9月から導入されるA Iドリルについて教職員研修を実施し、学力向上に向けた活用を進めている。
- ・日本語初期指導『スタートクラス』について、4月より富里南小学校をモデル校として試験的に開始している。現在は、サバイバル日本語を中

心に1日4時間、10日間のカリキュラムとなっているが、その中に今後、日本の決まりや社会生活のルールについて加えながら、より日本で生活をしやすいするためのカリキュラムの整備を進めていく。

- ・放課後の児童の居場所づくりについて、共働き世帯の増加によって、学童クラブの需要が増えてきている。先進事例へ視察を行うなど、学校施設の活用を含めた放課後の居場所づくりを検討している。

5 閉会